

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 20 日作成)

委員会名	構造物の振動制御小委員会	主 査 名：西谷 章
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：篠崎祐三
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	建築構造物のための、アクティブ型を中心とした振動制御技術の現状の把握と整理、さらにその将来を展望する。本年度は、論文抄録作成の継続と、活動のまとめとしての委員会資料「振動制御技術の現状と展望」の作成に向けて、その内容について議論を行い、骨子を決定する。	
委員構成 (委員名(所属))	主査：西谷 章(早大) 幹事：池田芳樹(鹿島建設)・長島一郎(大成建設) 委員：石丸辰治(日大)・井上 豊(日総試)・蔭山 満(大林組)・北川良和(慶大)・柴慶治(清水)・鈴木祥之(京大)・平井 潤(三菱重工)・藤波健剛(前田建設工業)・三田 彰(慶大)・伊藤真二(鴻池組)・山本雅史(竹中工務店)・渡壁守正(戸田建設)	
設置 WG (WG 名：目的)	振動制御建物資料作成WG ：アクティブ型の振動制御技術を適用した建物についての資料収集とデータの整理および関連論文の抄録作成。	
2003 年度予算	170,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	小委員会・WG 合同で本年度 5 回の委員会を開催。 2003 年 4 月 11 日(12 名) 5 月 23 日(12 名) 7 月 22 日(13 名) 9 月 19 日(13 名) 2004 年 1 月 16 日(14 名)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) これまでの論文収集作業を継続して、2002 年度出版のアクティブ振動制御関連の内外の論文の抄録作成を行った。論文抄録作成はアクティブ型の振動応答制御の適用に関心をもつ会員にとって、その現状と進展状況を把握するための有用な資料となる。 2004 年度末で小委員会活動は一区切りを迎える。これを受けて、パッシブ型を含む、広く応答制御を建物に適用するときの既存の指針的な資料を概観し、検討・議論を行ったうえで、4 年間の活動の成果として、委員会資料『振動制御の現状と展望(仮題)』を作成することとし、その内容についてさまざまな角度から議論を行い、その骨子を最終的に決定した。この決定内容にそって、最終年度となる次年度中に各委員が分担をして執筆を行う。この資料は 2004 年度末頃開催予定のシンポジウムを通して、公開予定である。この資料は、設計者にとって有用な手引きとなるような性格のものを目標としている。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 作成された論文抄録作成は、2002 年度開催のシンポジウムにおいて公開したこれ以前の論文抄録集に、加えられるべき内容であり、論文抄録作成の継続は活動計画にそうものである。 2004 年度中に、アクティブ型を中心とした振動制御の現状と展望を概観し、設計者にとって有用な手引きとなるような資料の作成は本小委員会としての当初からの目標であり、2003 年度の、内容の骨子の決定はほぼ計画に則っている。
その他評価すべき事項	特になし